



10月14日(火)「令和7年度第2回学校運営協議会(CS・コミュニティスクール)」が開催されました。

令和7年11月10日発行
新潟市立笹口小学校
CS事務員

【今回の会議では・・・】

《1》全クラスの授業参観

各階ごとに授業の説明を受け、その後は自由に参観していただきました。



《2》学校の取組説明

7月までの学校評価について

○近年、知識や情報の「何を知っているか」以上に「どのように活用するか」が重要視されています。当校では学んだことを日常生活で活用できるような授業を目指しています。その結果、全国学力・学習状況調査で思考・判断・表現の領域で高い数値が見られ、学んだ知識を必要に応じて選択・活用する力が高まっているといえます。

○継続して取り組んでいる「クラス会議」や縦割り班活動等の取組が、支持的風土を育み、子どもたちは他者の良さを認めたり、違いを認めたりできると実感しています。

○「1年生を迎える会」は子どもたち同士の関わりの場面を増やしました。体力テストは全学年同日開催で「体力テスト祭り」とし、当日計測ボランティアで、保護者、地域、大学の学生さんに協力いただきました。地域を巻き込んだ教育活動に子どもたちは多くの人と関わり、成長を実感することができました。

地域とのコラボ活動について

【体力テスト祭り】 保護者・地域・開志専門職大学学生さん計測補助

【3年交通安全教室】 保護者・笹口校区コミュニティ協議会・セーフティスタッフ協力

【クッキングスクール】 ほっとハウス主催 シェフパティシエ専門学校協力

【ナイトスクール】 夏休み開催 ほっとハウス・PTA主催

【6年地域参加について】 開志専門大学 東城歩先生から町おこしをテーマに講話

【光のページェント】 6年生が実行委員会会議にプレゼンで参加

シェフパティシエ専門学校とコラボしたスイーツ開発

【5年PTA行事】 UXアナウンサーの方からニュースができるまでを学ぶ

【低学年読み聞かせ】 保護者・地域・新潟こども保育カレッジ学生さんより読み聞かせ

【熱帯魚水槽の管理】 国際ペットワールド専門学校の学生さんから定期的に清掃管理

たくさんの地域・保護者の方に支えられ、見守られて、子どもたちは成長しています。

学校の様子は、毎日ブログで発信しています。

《3》意見交換

ボランティアについて

- 多くの方に参加してもらい、子どもたちの様子や成長を知ってほしい。
- 参加してくださる方の固定化が課題。
- 学校、PTA 行事等、自分の子と関わる時間が無くならないよう、幅広い視点で集められるとよい。
- ほっとハウスの活動でも集めるのが大変。
- 参加したら、きっと楽しかったという気持ちになるので、気軽にどんどん参加してほしい。



関わりについて

- 地域、保護者、地域の学校の学生さんが、子どもたちと関わって、お互い学ぶことがある関係になっている。
- 光のページェント等、人との関わりを大切に活動している。マンネリ化すると人が離れていくので、趣旨は残し新しいことを試みる。今年度は光のページェント点灯式に南万代小さんも参加する。ゆくゆくは、笹口小とコラボが実現してほしい。
- 動物と子どもたちの関わり方を勉強している学生がいるので、お互いプラスになる活動ができるとうい。



タブレット・SNS 等

- 情報を得ることが簡単になり、人に聞く、人と関わるのが希薄になってきている。
- 活用法として、スキルアップや学びたいことを見るようにする。
- 何でも検索できるが、正しい情報なのか見極め、確認することが大切。便利なものであるが、正しい使い方を教える必要がある。
- 保護者アンケートで「お子さんは、家庭で教育用タブレット（iPad）を学習に活用している」の数値が低いのはなぜ？
→家庭学習として学校から iPad を使うような課題が少ないのかもしれない。家庭でもわからないことを調べるために使う経験が必要。市から貸与されている教育用タブレットよりも、家にあるタブレットやスマートフォンを活用している子も多い。

その他

- 困ったときに誰かに助けを求めることが苦手な子がいる。どうしたらよいか考える場を設けてほしい。
- 学力・学習状況調査を見て、大変がんばっていると思う。
- 通知表で、行動記録の評価が無くなったが、少し物足りなさを感じる。